



2021年度第6回プチ国際理解講座開催



12月6日(月)に今年度6回目となるプチ国際理解講座を開催しました。
今回のテーマは「震災を伝える」。

NPO法人富岡町3.11を語る会の渡辺好氏を講師としてお迎えし、
「復興を支える人のつながり～東日本大震災のその後を語る～」と題し、
富岡町について講演していただきました。

講師の渡辺好氏



<富岡町について>

富岡町は福島県浜通りに位置し、双葉郡に属しています。

平均気温は12.8℃と四季を通じて温暖な気候です。

富岡町の町の木は「桜」です。桜の名所として知られる富岡町夜の森
地区には、「桜のトンネル」と呼ばれる2.2キロに及ぶ桜並木があり、
毎年たくさんの方が訪れます。

夜の森 桜のトンネル



<東日本大震災について>

富岡町には約6,300世帯がありました。

2011年3月11日の東日本大震災による家屋の全壊・大規模損壊は地震によるものは約100軒で、リフォーム可能・全く直す必要がないという家がほとんどでした。

しかし、津波による家屋の全壊・大規模損壊は約150軒と、地震による被害を上回りました。

また、地震による犠牲者はいらっしゃいませんでしたが、津波による犠牲者は24名にも上りました。

富岡町沿岸における津波の高さは21.1mと、県内で最も高いものでした。地震の揺れ以上に、津波が二重、三重…それ以上の様々な被害をもたらしたということがわかります。

<原子力災害について>

震災翌日の2011年3月12日、福島第一原子力発電所の20km圏内からの避難指示が出され、富岡町は全町避難となりました。これにより、津波被害の現状把握や救助捜索をすることもできなくなりました。富岡町から川内村、そして郡山市へと避難をし、長い避難生活が始まりました。町に自由に帰れるようになったのは、一部を除いて避難指示が解除された、2017年4月のことでした。

<本校の今後の取り組み>

12月22日(水)に、双葉町にある東日本大震災・原子力災害伝承館を訪問します。

フィールドワークや語り部講話を通して更に学びを深めてきます。